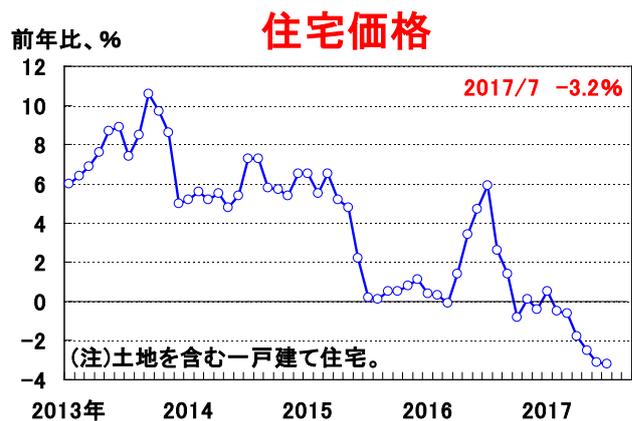
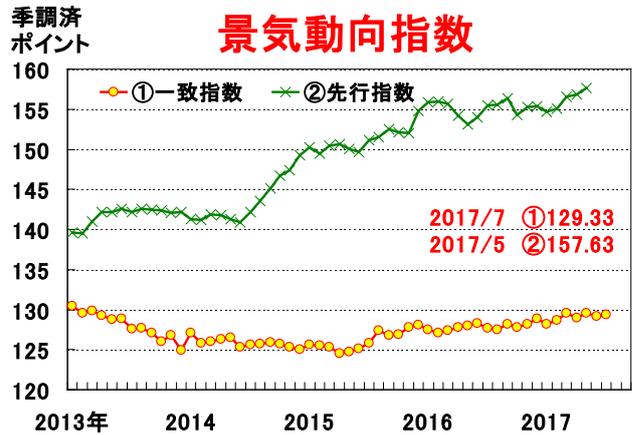
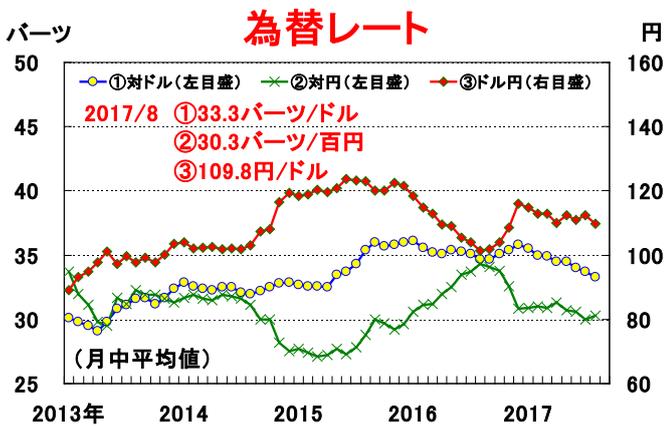
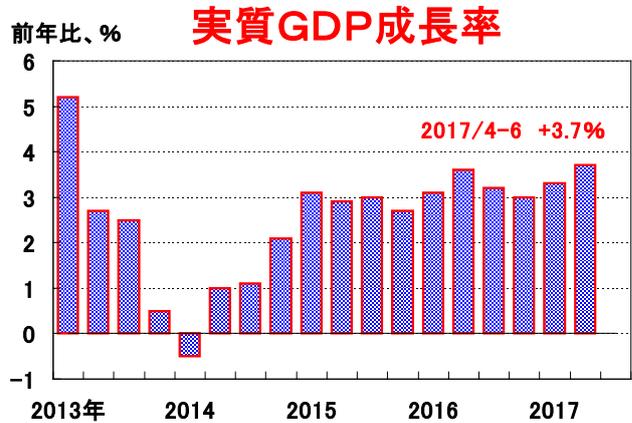
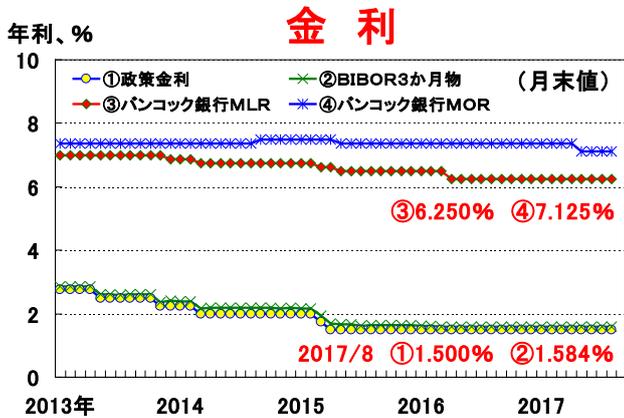


グラフで見るタイ経済 2017年9月号(No. 99)

タイ景気は緩やかな回復基調にある。2017年4～6月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+3.7%(前期は同+3.3%)と、好調な輸出や観光需要を背景に成長率が約4年ぶりの高水準となった。直近の月次指標をみると、7月の工業生産指数は前月比+1.1%(前月は同-0.9%)と再び上昇した。8月の企業景況指数が50.7と4か月連続で中立水準の50を上回り、企業マインドも足元で緩やかに改善している。また家計部門でも、7月の個人消費指数が前月比+0.7%と、耐久財消費の持ち直しもあり、3か月連続で上昇している。



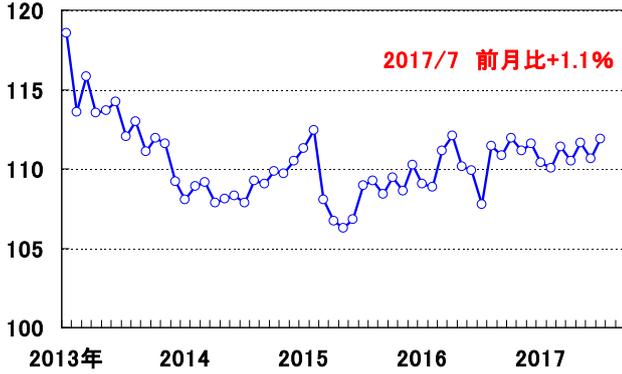
【今月のトピック:世界銀行が経済見通しを上方修正】世界銀行は8月に公表したレポート(タイ経済モニター)において、2017年の実質GDP成長率を+3.5%と予測し、前回4月の+3.2%から上方修正した。同レポートによると、タイ経済は干ばつの被害から農業生産が立ち直りつつあることに加え、輸出や観光の好調により前向きな動きが強まりつつある。政府が積極財政によりインフラ投資の拡充を進めていることもプラス材料である。政府は輸出の拡大に自信を深めており、8月にタイ商業省は今年の輸出拡大目標を当初の前年比5%増から7%増へ引き上げた。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

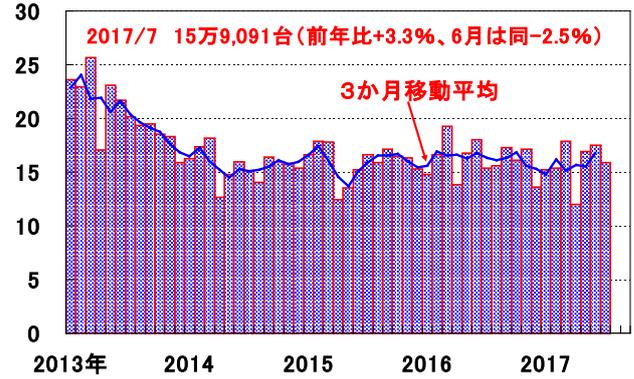
季調済
2000年=100

工業生産指数

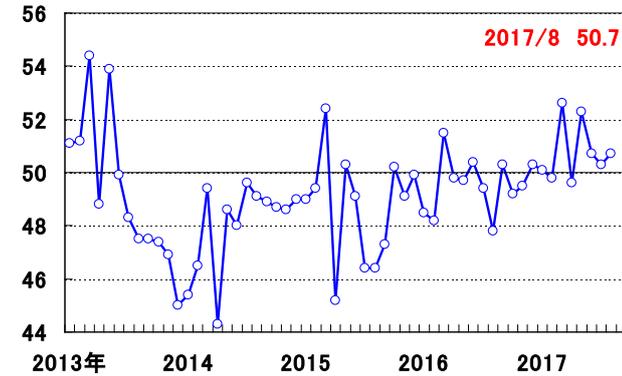


万台

自動車生産台数



中立水準=50 企業景況指数(BSI)



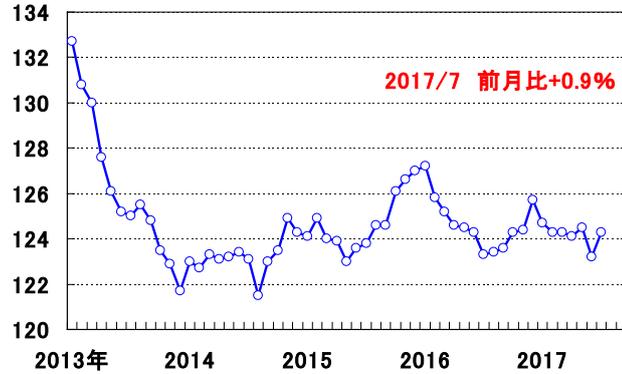
季調済
2000年=100

個人消費指数



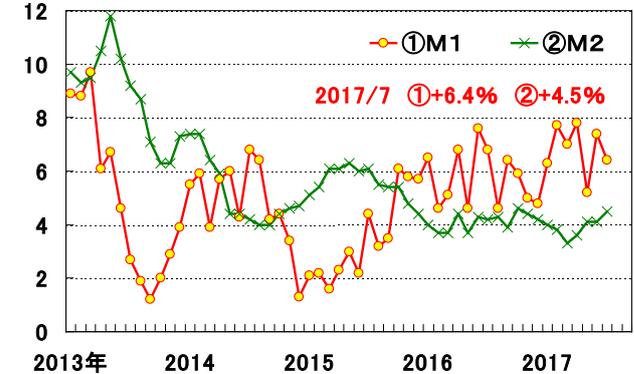
季調済
2010年=100

民間投資指数



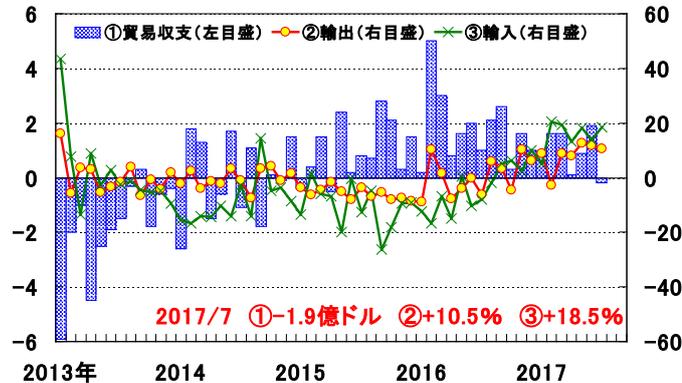
前年比、%

マネーサプライ



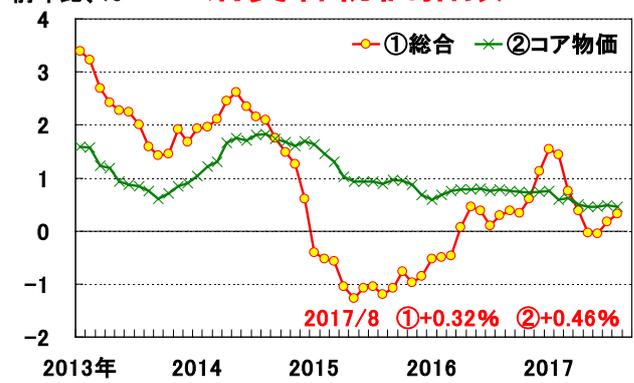
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。